



市議会だより

第1回 定例会

もくじ

定例会の概要	P 2
令和6年度予算	P 2
一般質問	P 5
議会のうごき	P10
請願の処理経過及び結果	P11
議決結果一覧	P12

桜並木が光に照らされ美しく夜に浮かびます。
地域の皆様による演出は、人々の目を楽しませてくれます。

YouTubeでも定例会の様子がご覧いただけます。

向日市議会
チャンネルは
こちら→



傍聴者向け
配付資料は
こちら→



令和6年 第1回定例会

令和6年度向日市一般会計予算 など25議案を同意及び可決

令和6年第1回定例会は、2月22日から3月21日まで、29日間の会期で開かれました。

本定例会で市長から提案された議案は左表のとおりです。このほか、議員は意見書案3件を提出しました。また、市民から請願1件が提出されました。

※議決結果一覧は、P12に掲載しています。

令和6年第1回定例会に提出された議案

当初予算	8件
一般会計予算	1件
特別会計予算	5件
水道事業会計予算	1件
公共下水道事業会計予算	1件
補正予算	2件
一般会計補正予算	2件
人事	3件
監査委員	1件
人権擁護委員	2件
条例の一部改正	11件
その他	1件
市道路線の認定及び廃止	1件
合計	25件

令和6年度 8会計予算を可決

令和6年度向日市一般会計当初予算は、前年度3号補正後予算額に比べ、9億3466万円、4.0%増の242億2100万円となり、これまでで最大の規模となりました。

特別会計全5会計総額は120億2079万円、水道事業会計及び公共下水道事業会計の総額は54億3858万円となりました。

採決に際し、7議員が賛成討論、1議員が反対討論を行いました。要旨は次ページ以降に掲載しています。なお、紙面の都合上、会派の大きい順番で掲載しています。

令和6年度当初予算額

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	242億2,100万円	4.0%
特別会計	国民健康保険事業	56億55万円 △0.2%
	後期高齢者医療	10億9,609万円 12.2%
	介護保険事業	53億735万円 0.1%
	大字寺戸財産区	1,258万円 0.6%
	物集女財産区	422万円 0.1%
水道事業会計	25億146万円 13.8%	
公共下水道事業会計	29億3,712万円 △10.9%	

※文中及び表の金額は、万円単位で表示しているため、実際の予算額(千円単位)と一致しない場合があります。

可決された主な議案

人事議案に同意

【監査委員】

大野 勘一郎 氏(京都市北区)

【人権擁護委員】

下越 信雄 氏 (寺戸町七ノ坪)

植田 茂 氏 (上植野町北小路)

専決処分の承認を求めることについて (令和5年度向日市一般会計補正予算(第7号) 1億60001万5千円の増額

低所得者世帯支援給付金を迅速に支給するため、直ちに予算措置をする必要が生じたことから去る2月9日に専決処分をされたものです。

令和5年度向日市一般会計補正予算(第7号)は、歳入歳出予算総額にそれぞれ1億60001万5千円を追加し、補正後の一般会計予算総額は242億6020万4千円となりました。補正予算歳出の主な内容は次のとおりです。

◎住民税均等割のみ課税世帯、1世帯あたり10万円の給付金及び低所得者の子育て世帯への加算として、1児童あたり5万円の給付金を支給する費用 ……1億60001万円5千円

討論

一般会計予算

※文責は会派及び議員にあります。

反対

まちづくりには市民参加を

日本共産党議員団 米重 健男 議員

向日市のまちづくりにとって大きな転換時期の予算。福祉向上より大規模開発が比較的優先。支出抑制で取り残される市民を出さない施策が必要。JR向日町駅東口開設は必要、費用は京都駅や総持寺駅並みの応分の負担をJRに求める。駅再開発事業のタワーマンションは反対根強く賛成できない。都計道路は、近隣市民が計画を不安視、機能面も理解されていない。立退き等周辺の住環境へ影響も大きく、合意と納得の形成が必要。計画推進は時期尚早。国保料の値上げ13・4%。保育料値上げ。保育を必要とする保育児童。助産院利用支援に通院がない。幅広い利用形態へ対応必要。全国学力・学習状況調査や学びのパスポートは過度のストレスをかけ、競争社会を助長し協働・協力がなくなる。学習状況把握として不適切。教育・福祉は国の責任が大きい。市で改善の努力が必要。市民福祉向上に資するもの・市民要求が実現したもの。水道料金減免、生活道路整備、水道管路耐震化、トイレカー導入、公立保育所施設整備と主食提供、学校体育館空調設置、2向小改築、未来の保育士支援事業、帯状疱疹ワクチン接種助成、歯周疾患検診、寺戸公民館整備、ゼロカーボン推進、給食費の据え置き。市民要望として、まちづくりに計画段階から市民参加。生活保護捕捉率向上と相談体制・連携強化、権利周知。職員数増と会計年度任用職員待遇改善・地域手当は正・超勤解消、給食無償化、私道改修、市営駐車場料金値下げ、生理用品学校トイレ設置、市民温水プール早期再開、留守家庭児童会希望者全員入所、ぐるっとむこうバス増便・右回り運行。

賛成

未来を見据えた都市整備に期待！

日本維新の会 無所属の会 松本 みゆき 議員

令和6年度は、過去最高額の予算となった。JR向日町駅東口開設推進事業は、本体工事や支障物件の移転をはじめとした自由通路整備事業や埋蔵文化財調査などを含めた市街地再開発事業も計画されており、令和8年度の東口開設を目標に着実に取り組んでいただいている。賑わいと活力や新たな雇用を創出するため、森本東部地区及び洛西口駅西地区における新たな都市基盤整備に大いに期待する。また、多くの保護者の方から要望されていた公立保育所の主食提供事業が来年度秋頃より予定されている。4月より保育料徴収基準額表の改定が行われ、80名の子どもの保育料がひと月数万円もの値上げとなることは非常に受け入れ難い。しかし、学校給食費を値上げしないことについて評価する。産前産後の子育ての包括的なケアの充実、学童の狭隘状況の解消等、今後もしっかりと取り組んでいただき、「子育てといえど向日市」と言われるような魅力ある取組をお願いする。また、水道管路の耐震化事業についてこのたびの工事を行うことにより来年度末時点で適合率は約45%となる見込みである。来年度以降の適合率は、全国平均、また府内平均値と比較しても大きく上回ると、高く評価している。2向小や寺戸・鶏冠井公民館などの改修について、学校関係者はじめ、特に近隣市民の皆様や利用者の意見をより多く取り入れていただき計画を遂行していただきたい。安田市長には市民に理解される説明責任を常に果たしていただき、これまで以上に強いリーダーシップでの行財政改革を期待する。

賛成

本市の発展につながる予算

自民クラブ 天野 俊宏 議員

令和6年度は、安田市長3期目の本格スタートの年度であり、本予算案は歳入歳出総額242億2100万円となり、過去最大を更新している。来年度は、JR向日町駅の本体工事が着手され、大きく変化する本市を目の当たりにできる年である。我々、自民クラブは、国・府、京都市の議員とも連携し、この事業の円滑な推進に邁進する。子どもたちの教育の場、避難所、社会体育施設として多くの利用がある小中学校体育館の空調整備や公立保育所の主食の提供について、要望を実現頂いた。また、帯状疱疹ワクチン接種費用助成を府内で先駆け実施することも高く評価する。他にも、評価する点は多くあるが、要望として、市役所と永守重信市民会館の館内の通信インフラの向上が必要である。また、向日町競輪場へのアリーナ誘致が決定したが、本市に相応しい誇れる施設となるよう希望すると同時に、多くの方にスポーツや文化に親しめる場所としての施設となるよう希望する。また、競輪場の周辺環境の整備にも京都府などと連携して取り組むようお願いする。意見として、市民ニーズも多様化し、民生費も増加、自治体間競争も激しくなってきた。最小の経費で最大の効果を上げることが求められているが、市民福祉の向上には、まちの発展が不可欠であり、発展してこそ市民福祉の充実につながる。JR向日町駅やアリーナなどもその施策の一つであると考えているが、本市の発展につながる施策の推進をお願いする。最後に、3月で退職される職員の皆様に、永年に亘るご精勤に感謝を申し上げ、令和6年度予算案の賛成討論とする。

一般会計予算

討論

賛成

市民に希望と安心を届ける予算

公明党議員団 富安 輝雄 議員

評価できる主な事業として、「物価高対策」では、小中学校の給食材料費の値上げ分を保護者の負担を増やすことなく公費で対応することや水道料金基本料の減免など。

「子育て支援」では、経済的負担軽減を図るための給付金に係る予算をはじめ、保護者の負担軽減のため公立保育所に通う幼児に対する米飯提供の開始や園児がより安心安全な環境で保育を受けることができるよう保育所施設の整備を実施。保育士の人材確保のため奨学金返還支援の補助対象期間の拡大など。

「健康推進事業」としては、50歳以上の市民を対象とした带状疱疹ワクチン接種費用助成事業や満20歳以上の節目の年齢の市民を対象とした歯周疾患検診事業。また、楽しみながら健康になることができるスマホアプリを活用した健康ウォーキング事業など。

「防災・防犯対策」としては、災害時に避難所としても使用する市内小中学校9校全体体育館に空調設備の設置や避難所の適切な運営・感染症対策を行い、トイレ不足の早期解消のためにトイレカーを導入する事業など。

JR向日町の東口開設に向けた事業としては、自由通路や駅前広場の整備に係る予算が計上されており、本市の将来に向けてさらなる発展を見据えた都市基盤の整備を進めるものであり、さらなる人口増や、まちの活性化につながるものと評価できる。

これら市民のための大切な事業を円滑に進めるため、本予算に賛成する。

賛成

災害に強く人に投資の予算に賛成

MUKOクラブ 和島 一行 議員

向日市の現況はJR向日町駅周辺、森本東部地区、洛西口駅西地区のまちづくりが徐々に進んでいる。また競輪場にはアリーナ建設の決定を京都府知事が明言した。そのようなこともあり、これからの向日市は大きく変わろうとしている。先ず、来年度予定の事業の評価だが、まちづくりの基盤となる道路整備推進事業だが、本市には狭隘な道路、危険な開渠が複数あり、市民の安全確保のため、この事業は重要である。子育て支援事業の公立保育所主食提供事業は働く世代の保護者の方々の手間が軽減できる。また公立保育所施設整備事業は先般の保育所の請願の採択から複数の改善すべき箇所整備に着手する早い対応は大きく評価する。

そして歯周疾患検診事業は歯周病菌が様々な疾患に結び付く恐れがあるため、定期的な検診で病気を予防でき医療費の削減に寄与する。また健康ウォーキング事業も評価するが、様々な疾患が出る40代前の方にも早め始めていただく事も周知してほしい。トイレカー導入は避難所生活には必須であり、他府県での災害時にも救済対応ができる。学校体育館の空調設備の導入は、災害時避難所となる体育館に空調設備があることで災害関連死、災害関連疾病を防止する。自治体DX推進事業は市役所に行くことが困難な方には助かる事業で、更に職員の労力を削減できる。要望としてJR向日町駅西口の環境の充実、市民の健康維持による国保・介護保険の立て直し、職員数が限られる中で市民福祉向上は大きな労力がかかる。そのためには離職しない職場の環境づくりをして頂くよう要望し、令和6年度一般会計予算には賛成とする。

賛成

市民期待の事業の着実な実施を

明日の向日 杉谷 伸夫 議員

新年度の最大の事業は、JR向日町の自由通路の整備である。タワーマンションについては大きな問題があると考え、自由通路の整備は市民が期待している。

その他、以下の事業に期待する。

①積極的なゼロカーボン施策の推進。②災害時に主な避難所となる小中学校体育館のすべてにエアコンの設置。③公立保育所での温かいごはんの提供開始。公立保育所の施設整備。④市民意見を反映した、市のホームページのリニューアル。

競輪場へのアリーナ整備は、交通渋滞など周辺環境整備が大前提。市民への説明が必要である。

100年先の未来を見据えた行動

明日の向日 林 リ工 議員

選挙の際、市民の方に宣言した「子育て・環境・防災」を中心に予算を評価し賛成した。

子育てしやすい向日市の実現は、新たな子育て世代を増やし、活気あるまちにして行くためにも急務である。待った無しの現状への対応・解決をスピーディーにお願いしたい。

ゼロカーボン推進事業に対しては脱炭素実現に向けて、市民・民間からの提案も積極的に受け入れ、本市も協働していく姿勢を期待する。

世界平均気温の上昇が1.5度を超えてしまうまでの残り時間は5年と123日である。待った無しの地球温暖化対策に、今私たちが大人ができる最善を皆さんと共に行動していきたい。

能登半島地震の支援のための義援金

令和6年能登半島地震に伴う災害に対する支援のため、議員1人あたり1万円、全議員から合計18万円を義援金として、北信越市議会議長会を通じ贈呈しました。

被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

向日市議会議員研修会

令和6年2月7日(水)に「令和5年度向日市議会議員研修会」を開催し、「議員のための法令・条例の読み方」をテーマに実践的で有益な内容の講演を聞きました。



実践的で有益な内容の講演を聞きました。

賛成

財政難から市民を守る逞しい予算

飛鳥井 佳子 議員

向日町駅東口開設や、小中学校体育館空調整備、寺戸公民館整備、第2向陽小改築、水道料金基本料減免、各所の道路整備などがグッドジョブである。市とともに積極的にがんばる向日市竹産業振興協議会の竹林ポランテアは大きな希望であり、何事も行政におんぶにだっこのおねだり市民ではダメで、ともに参画する仕組みづくりが必要だ。ニデックさんが市の人口増や税収増に寄与し、そのおかげさまでこの予算の内容が充実でき、幸せだ。永守氏のご講演で、変化のない街は寂しいと、市にカッ!を入れる言葉「脱皮しない蛇は死ぬ」とおっしゃり、この教えが市を救うと思う。

主な質問と答弁

一般質問

あなたも議会の傍聴をしませんか？

本会議当日、受付で住所・氏名など記入の上、傍聴券の交付を受けて入場することができます。

ただし、体調が不良の場合は、傍聴をご遠慮いただいています。

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。また、本会議は議場前の議会中継視聴室、東向日別館3階のテレビモニターで生中継しています。

一般質問発言通告表は、ホームページや公共施設等で事前に公開されます。

第1回定例会での一般質問は、3月5日・6日・7日の3日間にわたり行われました。

質問・答弁とも1人2問までに絞り、内容を要約しましたが、詳しくは5月末ごろ、会議録に掲載されます。

会議録は市役所、図書館のほか、インターネットでも閲覧できます。

向日市議会ホームページへのアクセスは検索画面で

向日市議会 を入力して

*質問の文責は議員にあります。

一般質問発言
通告表はこちら→



市長 地域主導の避難所開設訓練を市内全域に拡大し、実際の災害を想定した、より実践的な訓練とした。地域の方々と消防団が協力して進め地域防災力の向上に繋がった。地域住民の皆様の共助が最大限生かせるよう、来年度以降も住民主導型

1月1日に発生した能登半島地震において、現在も多くの被災された方々が過酷な避難環境にある。本市においても1月21日に市内の各小学校にて、震度5強の大規模地震を想定した住民主体の防災訓練が行われ、有意義な訓練であったと思われる。防災訓練の総括について伺う。

災害時の避難について



自民クラブ
米澤知紀議員

の訓練を実施していく。

老人福祉センターの活用について

高齢者の人口が増えているのにも関わらず、本市における老人福祉センターの利用人数は、平成24年度のピークから徐々に減少している。老人福祉センター「桜の径」の「琴の橋」のこれまでの利用状況と今後の見込みについて伺う。

市民サービス部長

平成24年度と比べ30年度の利用者は約10%、令和4年度で半数以下にまで減少している。新たに対象年齢に達した60歳代の新規利用者が非常に少なく、現在の状況が続くと、利用者数はますます減少していくと思われる。

- その他の質問
- ・自転車活用推進計画
- ・大阪・関西万博
- ・国保料について



公明党議員団
富安輝雄議員

安心安全の推進 について

道路の危険箇所等を市民の方が発見した時に、スマートフォン等を利用して通報できるシステムを導入している自治体がある。本市においてもデジタル化による問題解決のツールとして導入してはどうか。

都市整備部長 本市での通報手段は電話が最も多いが、通信手段を増やすことは、市民の皆様への利便性が広がり、手軽に情報共有が図れる。本市の実情に適したシステムを導入するには、他の自治体へ聞き取りを行うとともに、汎用性や効果などを検証し、導入については、費用対効果を含め、検討する。

投票行動への 支援について

選挙の投票に支援が必要な方との円滑なコミュニケーションを行うために、必要な支援の内容を事前に記入し投票所に持参できる「投票支援カード」を導入してはどうか。

選挙管理委員長 有効な支援施策であることから、次回の選挙から導入できるよう、カードの作成や配布方法などについて検討する。



子どもがど真ん中 の教育のまちへ



MUKOクラブ
近藤宏和議員

中学校の部活動の地域移行に向けて、さらに多くの地域の皆様にも部活動の指導に参画いただけないか、広く公募することについて本市の見解を伺う。

教育長 昨年8月に向日市部活動地域移行懇談会を立ち上げ、地域のスポーツ団体等から様々なご意見をいただき、検討を始めた。生徒が望む活動になるよう、地域の皆様に指導に参画いただく等、ご協力いただくことも視野に入れ、検討して参りたい。

放課後も安心安全 に暮らせるまちへ

入会児童が増加している留守家庭児童会について、低学年児童の安全を確保できるように体制整備を行う必要性がある。本市の見解を伺う。

教育部長 これまでから施設の整備と人材の確保に努めてきたが、想定を上回るスピードで入会児童数が増加している。低学年児童等の安全確保のためにも何らかの対応を検討する必要があることから、総合教育会議において協議していただく。

○その他の質問
・教員不足について
・特別支援教育について

保育所入所の課題 と対策について



明日の向日
林リエ議員

保育所の入所結果について、1か月前倒しするだけでも、3月の中旬まで「4月以降子どもがどうなるかわからない」という現状は回避できるのではないかと。本市で1か月の前倒しは実現可能か伺う。

市民サービス部長 申込者に一番合った所、どこがふさわしいかなど、職員が見極めながら調整しているため、今の時期になってくる。可能な限り早い段階で前倒しできるよう、引き続き努めたい。

図書館の役割と利 便性向上について

図書館は民主主義を機能させる重要な社会的基盤の一つで、図書館サービスが市民に権利として保障されなければならぬ。市民に利用しやすい仕組みをつくれれば利用者も増えるようである。図書館以外の場所に、貸出返却ができるサービスポイントを設置できないか。

教育部長 返却ポストの設置は、ポストの設置数や回収について検討を要する事項もあり、まずは時間や距離などの理由で図書館を利用しづらかった方々に対して有効な電子書籍サービスを実施し、図書館全体の利用者の増加を図りたい。



日本共産党議員団
米重健男議員

アリーナ誘致について

競輪場最盛期の経済効果は不明瞭であった。亀岡市のサンガスタジアムの例では、試合観戦での地域経済への波及効果は不明確であるとの事である。アリーナ施設を誘致すること

が本市の市民福祉向上に、どのようなメリットがあるか伺う。
総務部長 アリーナ施設の整備により様々なスポーツイベントの開催など、幅広い可能性が広がる施設となる。来訪者も増え、市民全体のスポーツへの関心が高まり、経済効果はもちろんのこと、文化芸術などの分野の振興にも寄与すると考える。

ライフシテイ跡地について

阪急東向日駅前で市民の買い物場所兼憩いの場だったライフシテイが取り壊されたが、跡地はマンションと聞

く。利用者の市民からは同様の施設を求める声も根強い。東向日のまちづくりと一体で、買い物場所や憩いの場の整備が必要であると考えるがいかがか。
都市整備部長 第3次都市計画マスタープランで東向日駅周辺を都市型複合拠点地区に定め、立地適正化計画で都市機能誘導区域にも位置づけ、一定規模以上の商業施設等を誘導しているが、開発に関する具体的な相談を受けておらず、協議する段階には至っていない。

- その他の質問
- ・JR向日町駅について
- ・地球温暖化対策について



日本維新の会 無所属の会
青山まゆみ議員

認知症の現状と支援対策等について

第9次向日市高齢者福祉計画策定時のパブリックコメントで、認知症の人を介護する家族は方法がわからない、介護者の支援も行って貰いたい、とのご意見があった。この様な意見が挙がるのは、具体的な支援がされていないと思われるが、どうお考えか伺う。

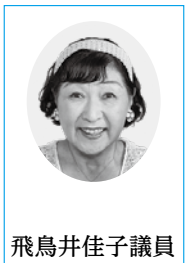
市民サービス部長 認知症に関する知識や情報の取得、同じ思いの方や支援者の方との交流を図る認知症対応型カフェをはじめ、認知症家族介護者支援事業、家族介護者交流会、認知症地域支援推進員による相談支援等事業を実施してきた。事業の周知に努めていく。

障害者総合支援法について

第6期向日市障がい福祉計画に対するご意見として、障がいの家族の暮らしに寄り添った支援体制の充実を求めています、とあった。障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築の進捗状況を伺う。

市民サービス部長 平成25年度に精神障がい者地域生活支援プロジェクトを発足し、住まいの確保の取組や各事業所の課題・実践の共有を続けてきた。今後も継続的な協議を重ね、支援体制の更なる充実を目指して取り組んでまいりたい。

- その他の質問
- ・災害時の要支援者と福祉施設について



飛鳥井佳子議員

災害救助マネジメント条例について

府には災害救助基金条例はあるが、被災者一人ひとりに寄り添い、生活全体の状況を把握し、各々の課題に応じた情報提供や人的支援等個別の支援を組み合わせて支援計画を策定し、誰一人取り残さない被災者生活復興支援を実現する条例を府と連携して用意してほしいが見解を問う。

副市長 セミナーや研修に参加し、人材育成に努めてきた。被災者支援には、国や府、民間事業者など、様々な団体・機関との連携が不可欠であり、「災害救助マネジメント条例」を含めた被災者支援の取組について、国や府の動向を注視していく。

第3保育所跡地の活用について

この土地を一時的にも公園にするとか、災害時の避難所や、不登校特例分教室や、プログラミング教室を開くとか、引きこもりがちな子どもの居場所づくりとして活用してほしいが所見を問う。

副市長 第3保育所跡地は市民会館建替費用の確保のため売却予定であったが、永守重信様の市民会館ご寄附により売却の必要はなくなった。市民の皆様との交流や憩いの場、緊急避難場所として広く活用していただくため、跡地の一部に都市公園の整備を検討する。

- その他の質問
- ・AYA世代のがん治療の外見ケアに補助を
- ・はりこ山を散策の森に



公明党議員団
福田正人議員

単身高齢者支援 について

65歳以上の人口は増加傾向が続き、令和19年には国民の3人に1人が65歳以上になると見込まれる中で、単身高齢者数も増加が進む。頼れる家族もいなければ無縁遺骨となる。そこで行政の役割を検討する時期であると考えが如何か。

市民サービス部長

本市では従来から厚生労働省及び法務省発行の手引きを踏まえ、また墓地、埋葬に関する法律等に基づき、火葬・納骨まで行っている。今後も身寄りのない方が、ご自身の遺骨の行く末を心配されることのないよう対応していく。

リサイクル箱の 異物混入について

ペットボトルの回収過程で異物の混入が問題となっている。東京都調布市などでは、新機能リサイクルボックスの設置などの実証事業を行っている。リサイクル箱の異物混入問題をどのように認識されているのかを伺う。

環境産業部長

リサイクルボックスに異物が混入すると、リサイクルの品質や効率を低下させる要因になる。本市でも資源回収を進める上で、異物混入の問題を解決していくことは重要と認識している。

○その他の質問

・プラスチックごみゼロ宣言について



明日の向日
杉谷伸夫議員

能登震災支援の経 験を市民と共有を

能登半島地震災害の支援はまだ進行中だが、本市職員が行った現地支援の経験を本市の防災施策に活かすため、行政内だけでなく、市民を対象とした報告会を開催し、経験を広く共有することについて考えを聞く。

市長

向陽高校にて派遣職員が撮影した被災状況や支援活動を含むスライドを使用し、出前講座を行った。貴重な体験談や現地の被災状況について、真剣に耳を傾けて頂いた。今後とも、防災訓練等のあらゆる機会を通じて、市民の皆様幅広く情報共有していく。

学校健診は「原則 着衣」に見直しを

脱衣を伴う学校健診のあり方の見直しを求める動きが全国で起きている。文科省が1月22日に「学校健診は原則着衣で」との通知を出したが、本市教育委員会はどうのように受け止め、今後どのように対応していく考えか。

教育長

この通知を受け、着衣を原則に児童生徒等のプライバシーや心情に配慮して実施することとし、医師会と具体的な検査・診察方法について協議するため調整中である。今後も児童生徒や保護者の理解を得ながら、健康診断を実施したい。

○その他の質問

・旧上田家住宅の市民利用の拡大へ、公平で透明性のある運用を



日本共産党議員団
丹野直次議員

寺戸公民館の 今後について

年間の利用者数が1万人を超える寺戸公民館の建替えが検討されている。それに先立ち昨年に実施された利用者・市民アンケートにどのような回答が寄せられたのか。また、結果について市の見解を伺う。

教育部長

自由記述ではバリアフリー化を求める記述の他、カフェスペースや授乳室等、幅広いご意見があり、LINEアンケートを合わせて実施したことや若い世代の方々のご意見も集約できた。これらの回答を踏まえ、基本設計等への反映に向けて検討を重ねる。

ぐるっとむこう バスを便利に

運転免許証自主返納された方に対してバス料金を200円を100円に割引く改定案では、なぜ割引期間が5月の1か月間なのか。せめて半年とか1年間に拡充することができないのか。

都市整備部長

駅や公共施設へのアクセスにおいて、民間路線バスと本市コミバスの路線が重複していることから、事業者への影響が最小限となるよう、割引の実施期間を1か月に限定することとした。

○その他の質問

・向日台団地周辺の交通安全対策について

障がいに対する理解や周知について



日本維新の会 無所属の会
長谷川愛議員

今年4月1日より民間事業者の努力義務であった「障がい者への合理的配慮」の提供が法的義務となった。向日市では障がいに対する理解や知識不足を補うために勉強会や周知することなど、何か検討されているかお伺いする。

市長 市民や事業者の皆様には広報むこうやホームページ、チラシを通じて周知・啓発を図ってきた。小学校4年生を対象に手話出前講座を、職員には障がい者差別解消研修や手話研修を行うなど、今後も適切な支援のため取り組んでいく。

視覚障がい者への郵便物について

行政からの必要な書類が一般の郵便物と違いがわからず、不安であるとの意見がある。期日があるものやワクワクン接種など緊急を要するものなどに、「重要」などの点字シールを貼って頂けないか、お伺いする。

市民サービス部長

重要な郵送物は発送前に電話連絡を行っている。行政からの郵便物での点字表記は視覚障がい者の利便性向上に寄与することから、他の自治体の取組も参考にしながら、具体的な取組について検討を進めてまいりたい。



原発を廃炉にするこについて



日本共産党議員団
北林智子議員

本年1月1日に能登半島地震が発災した。日本は地震大国であり、世界で発生しているマグニチュード6以上の地震の約2割が日本周辺で発生している。全ての原発の再稼働を止め、廃炉と、今こそ原発ゼロへと国へ働きかけて頂きたいがいかがか。

市長 エネルギー対策は国全体の供給の問題であり、国や電力会社が国民や自治体等に説明し、国民の中で議論が必要である。どのように脱原発を進めていくかが最も重要であり、脱原発社会が実現することを願っている。

より良い保育の保障について

昨年12月議会で提出された施設環境改善に関する請願が全会一致で採択された。早々に検討され、新年度の当初予算(案)に防犯・安全、暑さ対策の予算が計上されたが、そこに盛り込まれなかったその他の要望についての今後の見通しを伺う。

市長 できることは速やかに実行し、対応に時間を要することは時間をかけて有効な対策を講じたい。それまでの間、可能な対策を臨機応変に実施し、安全で安心な保育環境を維持していく。

- その他の質問
- ・新年度の保育所入所決定の状況等について
- ・発災直後の避難所運営

介護保険に係る医療機関との連携



日本維新の会 無所属の会
松本みゆき議員

要介護・要支援認定の際、医療機関へ返送用封筒を同封し主治医からの意見書を郵送で受け取っている市がある。一方、乙訓地域では、業務の位置付けではなくケアマネジャー等が善意で医療機関へ出向いて受け取るのが常態化している。ある一定の制度設計や予算措置が必要であると考えられているかが。

市民サービス部長

主治医意見書の提出方法について、窓口への持参に加え、各医療機関から市へ郵送する方法を本人が選択できるよう、関係機関と調整しており、ケアマネジャーや地域包括支援センターの負担の軽減

が図れると考えている。

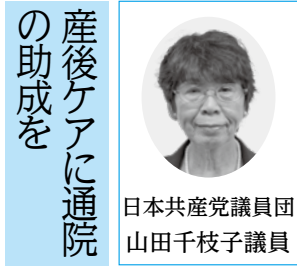
ニデック株との防災協定の締結

災害から地域を守る共助のうち、企業や関係団体も含め日頃から防災連携を図っておくことが重要である。ゼヒニデック株式会社と防災協定の締結を行なっていたいただきたいかが。

環境産業部長

3月に実施した乙訓二市一町総合消防訓練では、大規模災害発生時における総合的な消防応援体制の強化を図ることを目的とし、ニデック株を訓練場所とした。今後、どのような防災連携が図れるのか、周辺施設の整備状況を踏まえ検討を進めていく。

- その他の質問
- ・介護報酬の地域区分の引き上げについて
- ・災害に強いまちづくり



産後ケアに通院の助成を

厚生常任委員会で高梁市の産後ケアの通院事業等について視察した。高梁市では「産後ママ安心ケア事業」として、医療機関や助産師などによる母乳ケアや授乳指導・育児相談等の「産後ケア」の利用料の一部を助成している。対象は産後12か月以内の母子で、母乳育児相談は通算4回受けられる。本市でも通院の産後ケアを実施してはどうか。

市長 現在実施している産後ケアとしてシヨートステイ型及びデイサービス型に加え、新たに訪問型を含めた予算を提出した。育児相談や助言等を受けていただけ、産婦のうつ

- その他の質問
- ・牛ヶ瀬馬場線の南部建設計画の交通安全
- ・桜の径の風呂の再開

や乳児の虐待予防の観点から重要な支援であると考えている。

老人福祉センターをコロナ禍前に

コロナ禍で行事が制約され、人との交流がほとんどなくなった方が増えた。老人福祉センターの売店の再開など、コロナ禍以前に戻して頂きたいがどうか。

市民サービス部長

桜の径では、売店の再開に向けて準備しており、皆様が楽しく語り合うことができるスペースも、感染症予防対策を継続しながら設けている。琴の橋でも談笑室は飲食が可能な状況で、ご利用いただいている。今後も状況に合わせて見直しを進める。



二次災害を防ぐために

大規模災害が発生した際、避難所等での災害関連死が度々報道され、避難所の環境改善が課題となっている。助かった命が、二次災害で失われることは避けなければならない。

避難所の開設だけでなく、環境整備にも努めなければならぬが、本市の考えを聞く。

環境産業部長

安心安全な避難所になるよう、パターションの備蓄を進め、トイレカーの導入を予定している。今後、空調設備のある学校内の施設使用の協議を進め、必要な備蓄物資の整理・拡充に努め、避難所の環境整備に努めていく。

京都アリーナ(仮称)について

1万人が収容できる、屋内スポーツ施設の建設を京都府が検討している。

現在京都市左京区の府立大学体育館の建て替え案と向日町競輪場内の建設案が示されているが、双方とも課題は多い。本市の考えを聞く。

市長

アリーナの建設は大きな経済効果が波及するものと考えられるが、それに見合った整備をする必要がある。駅前広場の整備交渉や、競輪場にアクセスする府道の再整備の要望を行い、市民が誇りを持つ向日市のシンボルとなるよう、市としてしっかり対応していく。

議会のスケジュール

1月17日	総務文教常任委員会所管事務調査(愛知県稲沢市) 18日愛知県岡崎市)
18日	厚生常任委員会所管事務調査(岡山県高梁市) 19日岡山県笠岡市)
19日	近畿市議会議長会支部長会議(大阪市) 議会運営委員会・議会活性化特別委員会
22日	乙訓市町議会議長会議員研修会(京都市) 近畿市議会議長会理事會(大阪市)
23日	会派代表者会議
24日	京都市議会議長会(京田辺市)
30日	京都市後期高齢者医療広域連合議会 全員協議会(京都市)
5日	まちづくり特別委員会所管事務調査(向日町競輪場)
6日	京都府地方税機構議事會(京都市)
7日	向日市議会議員研修會
8日	全国市議会議長會(東京都)
13日	京都府後期高齢者医療広域連合議会 定例会(京都市)
16日	京都府議会・市町村議会合同研修會(京都市) 議会運営委員会・議会活性化特別委員会
22日	会派代表者会議 本会議 第1日(第1回定例会)
3月4日	議員全員協議會 議会運営委員会・会派代表者會議
5日	本会議 第2日(一般質問)
6日	本会議 第3日(一般質問)
7日	本会議 第4日(一般質問)
11日	議会活性化特別委員会
12日	厚生常任委員会
13日	建設環境常任委員会
15日	総務文教常任委員会
18日	乙訓市町議会議長會(オンライン)
21日	議会運営委員会・まちづくり特別委員会 本会議 最終日
25日	乙訓環境衛生組合議事會
26日	乙訓福祉施設事務組合議事會
27日	乙訓消防組合議事會



請願の処理経過及び結果について (報告)

令和5年第4回定例会で採択され、市長に報告を求めていた請願について、令和6年第1回定例会に次のとおり報告がありましたので、その要旨をお知らせします。

請願第7号

私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願

[処理経過及び結果] (抜粋)

- 令和元年10月の幼児教育・保育の無償化の実施により、保護者に対する教材費補助金が終了した後、本市におきましては令和2年度から、保護者を対象に市独自の新たな入園補助金制度を創設し、幼児の保護者への負担軽減を図ってきました。
私立幼稚園に対しましては、設備費補助金を交付してきたところ、市独自の制度として、令和2年度から教材教具購入補助金を新たに創設しました。
また、今年度から、教材教具購入補助金について園児一人あたりに対する教材費の補助を追加し、交付額の増額を行うなど補助の充実を図ったところであり、更に市独自に新たな補助制度を創設することは難しいものと考えております。
- (前略)本市においても、重点項目の一つとして、保幼小の校種間連携の充実を位置づけており、各小学校においては、現在、年に2回の保幼小連絡会を開催しており、また、小学校が個別に調整を図り、園児と児童との交流事業を行っているところであります。
本市といたしましては、専任の先生を配置し、市内の幼稚園、保育園と小学校との連携を図ることは難しい状況ではありますが、小学校と幼稚園をつなぐ窓口としては、各校の教頭や教務主任等が役割を担っており、近隣の幼稚園や保育所(園)と連絡を取り合うとともに、保護者の対応に当たっているところであります。
今後とも、校長会等を通じて、各小学校での具体的な連携状況を把握し、幼保小の一層の連携推進に努めてまいりたいと存じます。
- 待機児童対策として、保護者の就労等の理由により保育が必要な2歳児の子どもの預かり事業について、私立幼稚園に対する補助事業を令和元年度から実施しております。
- 長岡京市共生型福祉施設整備事業で設置される児童発達支援センターは、乙訓地域で生活している障がい児の健全な発達において中核的な役割を担う機関として、児童発達支援等、各サービスに加え、発達支援に係る専門医療の提供を予定しております。
センターの運営体制や具体的な業務内容等については、今後、長岡京市が京都府とも連携しながら、事業予定者と協議した上で決定しますが、幼稚園を含めた各関係機関との連携体制につきましても、乙訓2市1町で協議、検討してまいりたいと考えております。

請願第8号

向日市立保育所の施設環境改善に関する請願

[処理経過及び結果] (抜粋)

公立保育所につきましては、設立後、耐震工事などの大規模修繕や空調設備等の改修工事を適宜実施し、必要な保育環境の維持・向上に努めてまいりました。

しかし、第5保育所、第6保育所につきましては、老朽化も進んでいますことから、各施設を再度点検し、修繕が必要な箇所については早急に対応するとともに、防犯・安全対策や熱中症の防止など、安全で安心できる保育環境の充実に向けて、優先度の高いものから順次実施してまいります。

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28	29	30	31	6/1
	本会議 (提出議案等の説明)					
2	3	4	5	6	7	
			本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (予備日)	
9	10	11	12	13	14	15
	厚生 常任委員会			建設環境 常任委員会	総務文教 常任委員会	
16	17	18	19	20	21	22
				本会議 (議案等の 討論・採決)		

第2回定例会の予定

季節は、青葉が美しい頃となりましたが、能登半島地震で被災された方々は、今もなお、不自由な避難生活を余儀なくされるなど、ご苦労されておられることと存じます。1日も早い復興と、心穏やかな日々が訪れますようお願い申し上げます。

さて、今回の議会は、令和6年度の当初予算、条例、市民から提出された請願など多くの議案を審議いたしました。

今後とも、市民の皆様の声を聞かせていただき、災害に強い、安心・安全なまちづくり、健全な市政運営に議員一同、努めてまいります。

(議会だより編集委員会)

編集後記

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。
 なお、議案の内容は本会議初日の翌日にホームページに公開されます。お問い合わせは議会事務局まで。
 議会事務局 874-3540(直通) 931-1111(市役所代表)

令和6年第1回定例会

議決結果一覧

○=賛成、×=反対、退=退席、除=除斥、欠=欠席 ※議長（上田）は、可否同数以外は採決に加わりません。

Table with columns for item name, decision result, and 13 council members (山田, 北林, 米重, 丹野, 村田, 青山, 長合川, 松本, 米澤, 上田, 天野, 福田, 富安, 和島, 近藤, 杉谷, 林, 飛鳥井). Rows include '賛否が分かれた (除斥含む) 議案等' and '全会一致 (全議員賛成)'.

※議案等の内容は、向日市議会ホームページ「議案・議決結果」で公開しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。